

平沢復興大臣記者会見録

(令和2年12月24日(木) 17:00～17:06 於) 八戸市市役所2階応接室前)

1. 発言要旨

八戸の市長さんと、ただいま意見交換をさせていただきました。小林市長さんを初めとする皆様の御尽力で、八戸市が復興の総仕上げの段階に入っていることを実感しまして、大変に心強く思った次第でございます。

意見交換させていただきました。要望書も承りましたけれども、やはり今後も引き続き支援が必要な事業があることを認識したわけでございます。これからもこうした御要望を丁寧に伺いながら、責任を持って対応していきたいということで考えております。

小林市長さんから承りました要望書は社会資本整備の関係でございます。新大橋の整備事業につきまして、復興・創生期間内に完了しなかった部分について、是非、配慮してほしいと、こういうことございました。これについては、一般の施策や通常の地方財政措置によりまして、関係省庁と連携してしっかりと支援していきたいということで考えております。

そういったことございましたけど、市長さんから、東京に出店された八戸のお店のパンフレットをいただきましたので、これを受けまして、私のほうも近々、是非訪れて八戸市の物産を買うか、あるいはレストランで食事をさせていただくか、八戸市の町を少しでも応援させていただくよう頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

私のほうから以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 今日、岩手の沿岸部を見てこられて、八戸も見てこられたかと思うんですけども、印象に残った場所とか聞いたお話はありましたでしょうか。

(答) どこもみんな印象に残りましたが、印象としては、とにかくそれぞれの被災地、みんな必死になって頑張っておられるなど。その結果として被災から大きく立ち上がっておられるわけで、来年10年を迎えるわけですけど、私たちは10年で区切りというか、これを終わりとすることなく、復興庁としても全力で引き続き応援していきたいということで考えております。

今までは、いろいろハードの整備なんか力を入れてきたんですけど、もうハードの整備はほぼ完成しつつあるわけですので、これからは被災された方々の心のケアというか、コミュニティーの

形成というか、そういったことにもしっかりと力を入れていきたいということで考えております。

印象に残ったところはいろいろありますけど、やはり、もう一つ言わせていただきますと、要するに普段からしっかりと防災訓練と申しますか、こういった避難訓練というのをやっていたといったその結果として、それがあの大きな災害のときに大変役立ったというお話を伺いました。これはもう全く参考になる話でございます、これから私の地元の東京でも消防団の出初式とかいろいろな訓練が始まりますけど、そういったときは、是非、こういったことを皆さんにお知らせして、しっかり普段からの、いわば心構え、準備ができるように、そうした取り組みをするように、これを参考にして話をさせていただきたいなと思っております。洋野町ですね。洋野町のお話でした。

どうもありがとうございました。

(以 上)